

かわら版



2学期を振り返って

～終業式での代表生徒の言葉～

皆さんの2022年の今年の漢字は何ですか。楽しいを表す「楽」ですか。それとも悔しいの「悔」ですか。たくさんあると思います。世の中では、今年1年の出来事を表す漢字は「戦」でした。「戦」とは、武力を用いて互いに争うことを意味します。私たち青学年も2学期は色々なことと戦ってきました。コロナと戦い、行事で他のクラスと戦い、テストでライバルと戦うなど、奮闘した2学期でした。

私は、そのような戦いの中で、学年全員が一体となっていったと思いました。体育祭では、練習からみんなの目がメラメラと燃えていました。そして、学年全体で大きな行事を成功させることができました。合唱祭では、声がかかるまで歌って、美しいハーモニーを体育館中に響かせて、最高の合唱にすることができました。東京校外学習では、初めて訪れた場所のため、計画通りに進まなかった班もあったと思います。しかし、全員が安全に楽しく帰ってくることができ、よい思い出と共に成長できた部分も多かったと思います。

良かった点の多い2学期でしたが、反省点も多くありました。1年生の時には当たり前できていたことが、できなくなってしまった人も見られるようになりました。5分前行動・2分前着席はできていますか。提出物は出ていますか。悪いとは思っても、見て見ぬ振りをしている人はいませんか。このままの状況でズルズルと行ってしまうと、スキー体験教室や修学旅行なんて、もってのほかではないでしょうか。

リーダーシップとフォロワーシップという言葉があります。学級委員や部長など、リーダーが全体を良い方向へと引っ張ります。そして、仲間であるフォロワーが協力し、全体を盛り上げていく。これを当たり前ややってのけることが大切ではないでしょうか。リーダーがダメでもフォロワーがダメでも集団は成り立ちません。一人のせいで、他の114名に迷惑がかかることも少なからずあります。宿泊をする行事では、宿の方や他の観光客の方々にも迷惑をかけてしまうかもしれません。3学期の課題として取り組んでいきましょう。

2年生の3学期は、3年生の0学期とも呼ばれるそうです。いよいよ受験生としての道が始まります。進路の選択や勉強で忙しくなりそうです。先生方や家族の言葉に耳を傾け、さらに自分自身のことについてしっかりと考えていきたいと思います。

2年2組 ○○ ○○

家族の一員としての役割

年末年始をまたぐ冬休みは、家族で過ごす時間が長くなります。年末の大掃除、年始の挨拶など、家族の一員としての役割をきちんと果たすことを考えましょう。皆さんの中には、お父さんやお母さんよりも大きくなっている（体格）人がいます。これまで以上に家族の力になってほしいと思います。

3学期は1月10日から始まります。その2週間後には実力テストもあります。宿題はもちろんのこと、これからの学習に困らないように、弱点を克服するための自主学習も進めておきましょう。勉強に打ち込むことも、家族の一員としての「もう一つの役割」だと思います。

1月の予定

1月の完全下校時刻は17:00です

日	曜	給食	部活	行事予定	授業予定						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
1	日	×	×	元日 学校閉庁日 ～4日まで							
2	月	×	×								
3	火	×	×								
4	水	×	×								
5	木	×	○	冬季休業日 ～9日まで							
6	金	×	○								
7	土	×	○								
8	日	×	○								
9	月	×	○	成人の日							
10	火	×	×	始業式	式	学活	×	×	×	×	
11	水	○	○	給食開始	①	②	③	⑥	×	×	
12	木	○	×	上尾市学力調査 専門委員会	国テ	数テ	英テ	④	⑤	⑥	
13	金	○	○	避難訓練	①	②	③	④	⑤	避難	
14	土	×	○								
15	日	×	○								
16	月	○	○	臨時生徒総会（放課後）	①	②	③	④	⑤	×	
17	火	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
18	水	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
19	木	○	×		①	②	③	④	⑤	⑥	
20	金	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
21	土	×	○								
22	日	×	○								
23	月	○	○	実力テスト	国テ	数テ	社テ	理テ	英テ	×	
24	火	○	×	スキー体験教室保護者説明会	①	②	③	④	説明	×	
25	水	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
26	木	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
27	金	○	○		①	②	③	④	⑤	⑥	
28	土	×	○								
29	日	×	○								
30	月	○	×		①	②	③	④	⑤	×	
31	火	○	○	授業順変更	①	②	③	⑤	⑥	④	

2月のおもな予定

- 9日 専門委員会
- 11日 建国記念日
- 14日 中央委員会
- 20日 スキー体験教室（2泊3日）
- 22日 公立高校学力検査（3年生）
- 28日 学年末テスト 1日目

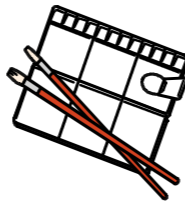
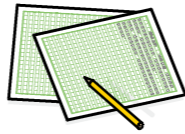
1月10日の持ち物

- 通知表ケース
- 各教科の課題
- 筆記用具
- わすれないう
- 上履き
- 雑巾1枚
- 冬休みのしおり
- 水筒（必要な人）
- 体操着・ジャージ
- 朝読書の本

青学年の活躍 ～表彰の記録～

(敬称略)

関東中学校水泳競技大会	4×100mメドレーリレー	1位	〇〇	〇〇	
関東中学校水泳競技大会	4×100mフリーリレー	6位	〇〇	〇〇	
埼玉県新人体育大会兼県民総合体育大会	200m平泳ぎ	1位	〇〇	〇〇	
埼玉県交通安全ポスター及び作文コンクール	作文の部	銅賞	〇〇	〇〇	
「感謝と成長のエピソード」作文コンクール	市長賞		〇〇	〇〇	
「感謝と成長のエピソード」作文コンクール	教育長賞		〇〇	〇〇	
「感謝と成長のエピソード」作文コンクール	優秀賞		〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
			〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
上尾市小中学生人権作文コンクール	最優秀賞		〇〇	〇〇	
上尾市小中学生人権作文コンクール	優良賞		〇〇	〇〇	
埼玉県吹奏楽コンクール	地区大会 中学校Bの部	銅賞	〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
埼玉県アンサンブルコンテスト	中学校地区大会	銅賞	〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
上尾市小中学校読書感想文コンクール	優良賞		〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
			〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
身体障害者のための埼玉県児童生徒美術展	入選		〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
郷土を描く児童生徒美術展	特選		〇〇	〇〇	
上尾市スポーツ協会	優秀選手賞		〇〇	〇〇	
科学教育振興展覧会上尾支部展	優良賞		〇〇	〇〇	／ 〇〇 〇〇
2学期「善行賞」	1組		〇〇	〇〇	2組 〇〇 〇〇 3組 〇〇 〇〇



「今月の詩」に変わって「今月の読書」 ～ 森 博嗣 著「思考を育てる100の講義」より～

仕事も競争だし、学校でも競争だ。人生はずっと他者との競争といえる。けれど、スポーツの競争のようにイコール・コンディションではない。スタートする地点がそれぞれ異なっているし、同時にスタートするのでもない。不公平といえば不公平だが、公平でなければならないというルールはなく、むしろスポーツのように人為的に公平にしている方が不自然なのである。

だから、人よりも早くスタートすることが第一に重要になる。けれども、一番先にスタートを切る者は、どこにゴールがあるのか、自分で決めなければならない。あとから追う者は、とりあえずは前を走る者を目標にすれば良いので、少し有利になるけれど、しかし、もともとのハンディを取り返せるか、という挑戦になる。

たとえば、子供たちは、どこにゴールがあるのかわからず、とにかく勉強をし、テストで良い点を取る、というゲームに強制的に参加させられる。たぶん、気がついたら競技場のトラックにいた、あるいはもう走っていた、という状況だ。走っているうちに、これが競争だと気づく。そんな感じだろう。

スポーツは、イコール・コンディションだというが、実際には、それぞれが自分の^{からだ}で走っているわけで、その体力や運動神経は、平等に与えられているわけではない。生まれながらのものが非常に大きい。努力で補える量は比較的小さい。しかし、つべこべ言っているとどんどん遅れるばかりで、とにかく走るしかないのである。

スポーツのようにコースが定まっているわけではない、という点が、人生の競争の特徴で、自分がここならば勝てる、というコースが選択できる。走っているうちに、だんだん楽しくなるし、だんだん気持ちが良くなる。

これは、走ったことがある人ならわかるだろう。スタート地点が違うじゃないか、足の速い遅いがあるじゃないか、自分は怪我をしているんだ、という理由を並べて、走らずにいる人には、気持ち良さはわからない。どういわけか、走らない人には、走っている人がつらそうに見えるのである。

マラソンランナは、みんな苦しそうに見える。それは、走っていない者の観察なのだ。ゴールインしたランナは、どんなに苦しくても、また走ろうと思うものだ。それに、一番ではなくても笑顔になる。走らない者には絶対にわからない。… 最後の一文に共感。冬休みには本を読もう！



東京校外学習に行ってきました

12月20日に東京校外学習が行われました。いくつかのハプニングはありましたが、全生徒が無事に東大宮駅に帰ってくる事ができました。「楽しかった」「班でまとまれた」「普段学べないことが学べた」など、感想からも充実した1日を過ごせたことが伝わってきました。



東京駅での出発式（実行委員長）



前日の決起集会（実行委員の決意）



SDG'Sを学ぶ



上野公園（チェックポイント）



新橋駅（チェックポイント）



切符を買うのもひと苦労



時間通りですね！



仲見世通りで〇〇先生に遭遇



行けばわかるさ…



地球はやっぱり丸かった



JICAで真剣に学んでいます



次はどこへ行くのかなあ

東京校外学習を振り返って

実行委員長 2組 〇〇 〇〇

校外学習では、電車の移動を通して時間を守る事の大切さを学びました。これからの学校生活では、今までよりも「5分前行動・2分前着席」を意識していきたいと思いました。また、事前学習で計画を立てるのが難しかったけど、班で協力して取り組めたのが良かったです。これらの経験を生かして、スキー教室や修学旅行も成功させていきたいです。